

# YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック  
RI.D2590ガバナー / 長戸はるみ  
横浜旭RC会長 / 北澤 正浩

カールスカウト  
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

## 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836  
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024  
<http://yokohamaasahirc.org>  
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4Fコミュニティサロン  
例会日 月3回水曜日 / 12時30分～1時30分

## 2025年1月15日 第2567回例会 VOL.56 No.20

■司会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

### ■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	14名
本日の出席率	70.00%	修正出席率	84.21%

### ■本日の欠席者

日向、五十嵐、草柳、中谷、二宮、宋

■オンライン出席 福村

■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。

昨年1月1日に発生した能登半島地震を皆さまも記憶されているかと思います。そして、今年も先日の1月13日に、宮崎県を中心に震度5弱を記録した地震が発生しました。被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧を願っております。

今回の地震では、南海トラフ地震に関連する臨時情報の調査が一時発表されましたが、その後、調査は終了しました。しかし、これで南海トラフ地震の驚異が去ったわけではありません。専門家によれば、今後30年以内に70～80%の確率で発生すると予測されています。私たちは引き続き警戒を怠ることなく、備えを進める必要があります。

日本においては、南海トラフ地震以外にも多くの巨大地震の可能性が指摘されています。我

が国の地震予知能力は世界的にも優れていると言われていますが、地震の発生時期を正確に予測することは依然として難しく、それを防ぐ手立てもありません。そのため、私たちができることは、防災と減災の備えを日々進めることに尽きます。

まずは皆さまにお願いしたいのは、身の回り、家庭、そしてご自身が所属する会社や団体での震災への備えを整えることです。当クラブで進めている“災害に備えるプロジェクト”は、こうした状況を鑑みるとますます重要性を増していると感じます。

何事もない日常の中では、私たちのプロジェクトの重要性を実感しにくいかもしれませんが、しかし、もし大きな災害が発生した際には、このプロジェクトが地域社会の多くの方々を支える一助となることを心から願っています。そのためにも、このプロジェクトを確実に、そして早急に進める必要があると強く感じています。

昨年、当クラブで開催した講演会で水谷先生がお話くださった「大型の地震が年々増加している」という言葉が今でも心に残っています。この現実を踏まえると、私たちが果たすべき使命はますます明確になってきました。ぜひ皆さまのお力をお借りして、このプロジェクトをさらに推進していきたいと思っております。

どうか皆さま、一人ひとりがこの課題に向き合い、地域全体の防災力を高めるために共に努力していただければと思います。

#### ■幹事報告

市川 慎二

※例会変更のお知らせ

○横浜南央 RC

1月より「ローズホテル横浜」に例会場変更

※第13回理事会報告（8頁参照）

#### ■ロータリーの友の1月号感想文 関澤 信吾

つい先日13日夜にも日向灘を震源とする宮崎県で震度5弱の揺れを観測し宮崎県と高知県で最大20センチの津波が観測されましたが、1月号ロータリーの友でご紹介したい記事は鎌倉 RC 久保田英男さんによるにっぽんふうど北陸能登特別編です。

まだ記憶に新しい昨年元旦に発生した能登半島地震は輪島市などで震度7、地震の規模はマグニチュード7.6という非常に大きなものでした。地震や火災、津波による死者や建物やライフラインへの被害も甚大でいまだ復興というにはほど遠いのではと感じています。

また能登が見舞われた災害は地震だけではなく復興に向けて動いているさなかの9月の能登半島豪雨も甚大な被害をもたらし、取材された農園の方は地震よりも洪水のほうが影響が大きいと嘆いていました。

震災直後から現在も被害者支援を続けている重蔵神社の方によれば震災前から少子高齢、人手不足、事業承継といった問題は懸念されていたものの震災以降でそれが加速してしまったと言い、震災前に戻るのが目標ではなくその先を目指さないと駄目だと思ふとの現状に耐えつつも未来に向けた意思を示されていることにとっても感銘を受けました。

自分だけでできることは大きくないと思いますが能登の現状に関心を持ち続け、現地の方のためとなることはなんなのかを自問して過ごしていこうと思いました。

久保田さんのひと言「忘れないで、能登を」という言葉が非常に重くのしかかり私も決して

他人ごとではなく自分ごととして能登を忘れてはいけなと強く思います。

#### ■ニコニコ BOX

北澤 正浩／①本日のクラブ協議会、よろしくお願ひいたします。②中島さんのイニシエーションスピーチ楽しみにしております。③26日チャリコン成功させましょう！

市川 慎二／①本日のクラブ協議会宜しくお願ひ致します。②中島さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。

佐藤 勉／中島さんイニシエーションスピーチよろしくお願ひします。楽しみです。

佐藤 真吾／①皆様、ご無沙汰しております。なかなか例会に出席できず申し訳ございません。②中島さんイニシエーションスピーチ頑張ってください。

安藤 公一／①本日のクラブ協議会宜しくお願ひします。②中島さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。③1/13ラグビー大学選手権決勝で早稲田は帝京に敗れ準優勝に終わりました。ご声援ありがとうございました。

岡田 隆／中島さんのイニシエーションスピーチ楽しみです。

田川 富男／中島さんイニシエーションスピーチよろしくお願ひします。

中島 徹／本日は、例会の貴重な時間にイニシエーションスピーチという素晴らしい機会を頂き誠にありがとうございます。つたない話ではございますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

#### ■イニシエーションスピーチ 中島 徹

皆様こんにちわ、ジャパンウェルスアドバイザーズ(株)の中島徹ともうします。本日はイニシエーションスピーチの機会をいただきましてありがとうございます。

本日は私の生い立ちと仕事に対する思い、また趣味について簡単にご紹介させていただけたらと思います。

私は1984年、神奈川県川崎市麻生区で生まれました。この1月に41歳になります。私の



3つ上に姉がおります。生まれの最寄り駅は小田急多摩線の「五月台」という駅で、現在も両親はここに住んでいます。

川崎市麻生区は川崎市の最北端に位置し、東京都稲城市に隣接しています。この地域は1970年代以降の多摩ニュータウン建設や京王相模原線および小田急多摩線の沿線開発に伴い、人口が急増したエリアです。また、スタジオジブリの映画『平成狸合戦ぽんぽこ』の舞台にもなったことで知られています。

父は写真家で、母は新聞記者です、母方の祖父は外科医として肺の専門医をしていました。祖父は戦時中に満州からロシアへ捕虜として連れて行かれるという苦難を経験したそうです。そのせいもあってか、母は私に医者になってほしかったそうですが、ものの見事に道を外れてしまいました。

中学高校時代は千葉県木更津にある暁星国際学園という全寮制の学校に6年間通いました。中学1年生から親元を離れ、16人部屋の寮生活を送りました。この経験は大変厳しいものでしたが、私の成長に大きく寄与しました。寮生活で特に印象深かったのは、2001年の9.11事件のニュースを、数日遅れで知ったことです。TVもないし、携帯は持ち込み禁止でした、当時はインターネットもなく、寮生活ならではの隔離感を感じました。

大学は東京の武蔵境にある亜細亜大学の法学部を卒業し、2008年に転勤のない営業職として証券会社に入社しました。最初の配属先は横浜支店で、ここから私の相鉄線人生が始まりま

す。上星川、星川と住居を移し、結婚を機に二俣川へ引っ越してきました。

証券会社には2008年から2020年まで約12年間在籍し、個人および法人のお客様の資産運用を担当しました。入社から半年後、リーマンショックが発生し、支店内が騒然としていたのを今でも鮮明に覚えています。この経験は私の価値観を決定づける大きな出来事となりました。（もし今後リーマンショックのような出来事が起きてもお客様が「枕を高くして寝る」ことが出来るように常に準備していなければ「貯蓄から投資」なんて絶対に進まない。こんな思いを強くした次第であります。）

2013年に安部元首相が始めた、「アベノミクス」で株価は大きく上昇し私たち証券会社の社内の状況もここから大きく好転していきました。年齢も30代後半に入り、仕事もそれなりにできるようになってきましたので、ちょうど会社内で大きな組織変更がなされたタイミングで、思い切って会社を辞め、独立ファイナンシャルアドバイザーとしての活動を二俣川で始めました。

ここから高い志を立て「日本の家計に貢献するんだ！」と意気込みすぐさま実現しているのであれば非常にかっこいいのですが現実はそんなに甘いものではありませんでした。実際「自分には12年もの営業経験があるから何をやっても必ずうまくいくだろう」などという軽く甘い気持ちで考えていました。

その結果ここから私のある意味非常に苦しい冬の時代が始まりました。今思い返しても胃が痛くなるような感じがします。

それこそ12年間も大手の証券会社の中で営業一筋でサラリーマンをしていたおかげで、コスト意識のなさや無駄なプライド、大した能力もないくせに根拠のない自信であふれており、いかに自分が傲慢であったのか、横柄であったのか、また、世間知らずであったのか、を思い知らされました。今思い返してみても恥ずかしくなります。

独立して、その報告を勤務時代のお客様をたずねて行くと「別に君と付き合いなかったわけではないよ、会社が安心だったからね。」とか「会社を辞めた君にはもう用はないな一」であるとか「後任の〇〇さんはすごく安心だから君には用はないな一」とか、会社の看板が外れた自分はこんなにも無力なんだ、ということ深く深く痛感いたしました。もちろん私が来たことを喜んでくれてお取引を継続していただいたお客様もわずかながらおりご契約の折には冗談抜きに涙が止まらなかったことを覚えています。また、農家をされてるお客様も私のことを心配してくださり、お米や、野菜、フルーツと現物物資を支援してくださった方もいらっしゃいました。家に帰ってきて妻にこれらを渡したときは「いろんな人たちに私たちは支えられているんだね」と二人で喜んだことを覚えています。本当に感謝しております。

また私が、会社を辞めた2020年は皆さんもご存じの通りコロナショックにより緊急事態宣言、オリンピック中止など、対面で提案を行うビジネスを行う環境としては大変厳しい環境であるということも相まって、いよいよ家族の生活を守れなくなるのではということとでどんどん追い詰められていきました。

そんな中で自分の気持ちが折れなかったのは家族の存在と本でした。

子供たちの無邪気な笑顔と、妻の何とかなでしよといった姿勢には大変救われました。

また、この時期、暗いトンネルを抜けるためにたくさんの本を読みました。中でも、森信三先生の「修身」教授録と新渡戸稲造先生の「不動の自分になるための習慣」現代版修養には本当に助けていただいたと思います。「どうせ人生2度はないし、やれる限り精いっぱいやってみるか、濡れた毛布のような人間には絶対にならない」と思えたのもこの2冊の本のおかげです。改めて日本の先人たちは本当に偉大な方が多いと思います。

人間不思議なもので、気持ちが高まり新しい

志が定まると現状は何も変わっていないのに今まで以上にバリバリ働けるようになり、少しずつではありますが新しいお客様が増えていきました。この時の経験から証券会社時代の営業方針とは180度姿勢を変えて、お客様には次世代のご家族にも喜んでもらえるような、1度購入したら二度と売る必要がないような金融商品を提案しようと強く心に決めました。

私の職業ミッションは「証券投資の成功を通じてお客様の人生を豊かにするお手伝いをする」ことです。「投資の成功体験」がなければ、お客様に満足していただくことはあり得ません、また一時的に投資に成功しても大きなショックが来て投資を辞めてしまっただけでは意味がありません。

日本に残された強みの一つは、高度経済成長期に先人たちが築き上げた膨大な国富です。個人金融資産は2024年時点で2200兆円にのぼります。しかし、高齢化や生産年齢人口の減少が進む中、この国富をいかに活用し、投資収益を獲得するかが、これからの日本にとってますます重要になっております。

現在の石破政権は「新しい資本主義」を推進し、岸田前首相が掲げた「資産運用立国」の理念を引き継ぎ、投資大国日本の実現を目指しています。

こうした大きな国家レベルの動きに貢献することは自分ごときでは難しいかもしれませんが、私の暮らす横浜市旭区から「証券投資の成功を通じて人生を豊かにするお手伝い」が少しでもできるよう、微力ながら日々取り組んでまいりたいと考えています。

趣味はブラジリアン柔術で、大学時代から17年間続けており現在は黒帯です。家族全員で楽しんでおり、毎週金曜と土曜には戸塚駅近くでアルバイトとして柔術を教えています。ブラジリアン柔術は、日本の柔道家・前田光世がブラジルに移住し、現地の 그레이シー一家に伝えた技術が発展した護身に優れた格闘技です。

柔道に近いスポーツですが、寝技での決着を

重視する内容です。

これが私の生い立ちと、仕事に対する思い、そして趣味のブラジリアン柔術についての話です。

若干 40 歳の若輩者でございますのでここにいらっしゃる素晴らしい皆様からこれからもたくさんのお話を勉強させていただきたいと考えております。

どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします！

最後に、新渡戸稲造先生の「修養」の最終章には「迎年（げいねん）の準備」という項目があります。その中に新たに立てた目標を実行しそびれた人向けにこんな一節があります「もう一度やり給え、一度倒れたら一度起きればよいではないか」この言葉を胸に今年もたくさん挑戦をしていきたいと考えております。

皆様本日はご清聴ありがとうございました。

## ■クラブ協議会

### ▶クラブ管理運営委員会

《親睦委員会》委員長 田川富男

親睦的には、9月にて第1回目の情報集会を開催しました。3グループに分かれてテーマ(3年間計画・会費について・会員増強)に沿って討議され10月に各グループ発表をして頂きました。また、12月に恒例のクリスマス家族例会を親睦委員の皆さんの協力にて開催され、会員家族・友人との親睦を図ることが出来ました。後半にて第2回の情報集会か親睦旅行の計画をしています。親睦はロータリー要の活動ですので会員の皆さんには、今後も親睦計画に参加して絆を深めてください。

《プログラム委員会》五十嵐 正

プログラムに関しては、前半にガバナー公式訪問の変更にともない、多少バタバタしましたが、今のところ順調に推移しております。

以前に比べて、例会数が10回位減っており、月間行事のクラブフォーラムはそのまま、一般卓話と職業卓話にそのしわ寄せが出ておりま

す。会員数の減少が大元の原因ですが、魅力あるプログラムを後半も心掛けていきたいと思っております。

《会員増強委員会》委員長/目黒 恵一

① 8/7 増強フォーラムにて地区委員長加野亮一様に卓話をお願い致しました。

② 中島会員が 11/6 (水) に入会して頂きました。

③ これ以上会費 UP は米山、財団、チャリティーコンサートの寄付金を会費を補填しても会員の減少につながると思います。

### ▶奉仕プロジェクト委員会

《職業奉仕》副委員長/安藤 公一

1/8 職業奉仕フォーラムにおいて地区職業奉仕委員長桑原氏の卓話を頂いた。

12/18 夜間例会にて一般財団法人「かけはし」代表広瀬氏の卓話を頂き、寄付金を贈呈した。

・神奈川県立がんセンターとの活動再開に向けて行動する。→下半期に対応

・中学校、高等学校への職業講話に向けて行動する。→継続ワーク

《社会奉仕》副委員長/岡田 隆

10月14日 二俣川フォルテ祭に出店

・12月14日開催の「防災先進国イタリアに学ぶ防災のTKB」講演会の告知

・1月26日開催の第12回チャリティーコンサートの告知

・AFC(アクトフォーチャイルド)代表伊吾田様の商品販売

10月20日 旭区民ふれあい祭り

・12月14日開催の「防災先進国イタリアに学ぶ防災のTKB」講演会の告知

・1月26日開催の第12回チャリティーコンサートの告知

1月26日 チャリティーコンサートへの協力

《国際奉仕活動計画書》副委員長/新川 尚

・ウクライナ避難民交流・支援→下半期ワーク継続

・区内在住の外国籍の方への支援→下半期ワーク継続

《青少年奉仕活動》 副委員長／中谷逸希

・ガールスカウト第102団に対する支援と共同活動→4月第1週を予定

・県立看護福祉学校（本年4月より二俣川高等学校に改編）インターアクトクラブ設立に向けての準備活動→校長、教頭先生と顔合わせを実施した。市川幹事のご紹介により実現。同校校長の卓話に来る3/18に予定されている。

・県立旭高校学校運営委員会への運営委員としての参加→学校統合で本年はワークできていない。

《R財団委員会》委員長／二宮麻里子

R財団寄付額（2024年12月現在）

年次寄付 2,800 \$ ポリオ 550 \$

《米山記念奨学委員会》委員長／岡田 隆

1月15日現在

特別寄付金 目標 420,000円

実績 320,000円

皆様のご理解ご支援よろしくお願ひいたします。

《災害対策委員会》委員長／増田嘉一郎

1) 10月9日委員会を開催して、災害復旧支援金の使徒を、これまでの扱いを改めて、広く用途を定めないものとしても寄附できるように、次のことを決めた。

(1)これまで①募金した14日の二俣川銀座商店会フォルテ祭の募金と、②同月20日の旭区民祭りでの募金は、能登半島地震・豪雨復興支援募金とする。

(2)募金は、日本赤十字社を通じての被災地支援として同社へ寄附する。

(3)今後の被災地への災害対策活動は、委員会で決める時期迄に、被災地ロータリークラブが実施する災害復旧活動への具体的支援を必要とする情報が入らない場合、特に使用目的を定めない被災地への支援金として、日本赤十字社に寄附する。

2) 前項の決議は、理事会での承認を得て、同(1)は、令和7年1月14日前年度チャリコンで集めた募金を含めて106,449円を能登半島地震災害義援金として日本赤十字社への寄付とした。

3) 当クラブの災害支援基金も、2019年7月細則が施行されて以来、毎年災害が起きているにも拘らず1度も使われていない。これも制度設計に誤りがあったのではと思われる。制度を見直したいと考えているが、例会が月3回となったことから、委員会を開く日程が取れない。そこで、3月に予定されているクラブ協議会で、まずは会員に意見を求めることにした。

会員におかれては、十分なる検討をお願いしたい。以上

《チャリティーコンサート部会》

今月26日(日)にチャリティーコンサートが開催されます。当日は12時30分位に旭公会堂へお集まりください。

会員協賛金としてお一人様5,000円以上のご協力をお願いします。また、各会員の取引先へも協賛依頼をお願いします。

皆様のご理解、ご協力を宜しくお願ひいたします。

《3カ年プロジェクト》五十嵐 正

3カ年プロジェクトとしては、予定通り12月に防災先進国イタリアに学ぶ講演会が開催出来、受講者アンケートから98%の高評価を頂きほっとしております。

今期の後半は地元旭区の防災に関する状況を勉強しつつ、地域の諸団体と交流をはかり、地域参加型の防災プロジェクトの青写真ができるよう努めて参りたいと思います。

《会計》佐藤 真吾

2024-25年度上半期

本会計収入計画／6,782,684円

実績／6,833,532円(+50,348円)

本会計支出計画／3,311,185円

実績／3,245,627円(▲65,528円)

特別会計収入計画／180,000円

実績／344,000円(+164,000円)

特別会計支出計画／500,000円

実績／455,454円(▲44,546円)

全体では概ね計画通りです。

## ◆分断ではなく平和の連鎖を

投稿日：1月27, 2025 投稿者：Rotary Japan  
 ～パレスチナ支援に長年携わる平和フェローが  
 ガザの現状と平和について綴る

寄稿者：金子由佳（元ロータリー平和フェロー）

私はロータリー平和フェローとして、2010年～2011年にクイーンズランド大学（オーストラリア）の大学院国際政治学部で平和・紛争解決コースに参加しました。フェローシップ（全額支給の奨学金）を通じて、大学での授業はもちろん、実地体験（AFE）として3カ月にわたる国際組織でのインターン、平和学に資するスタディーツアー、学会発表への参加、受入国オーストラリアでの多様な人びととの交流など、平和を学ぶために有益な機会をたくさんいただきました。AFEでは、前職の同僚を頼ってアフリカのシエラレオネ・カンビア県で行われていたJICAの地域開発事業でインターンとして3カ月滞在しました。また、スタディーツアーではパレスチナのヨルダン川西岸地区に1カ月間、現地NGOのボランティアとして参加しました。

卒業後は特に、パレスチナでのボランティア

活動での経験をもとに仕事を探し、2012年から2017年には、日本国際ボランティアセンター（JVC）と言う国際協力NGOでパレスチナに赴任、ガザ地区で母子の栄養改善事業に携わりました。この5年間でガザ地区を頻りに訪れ、横浜のロータリークラブの皆さんと、グローバル補助金を使った母子保健事業も実施しました。



ガザの保育園での子どもたちの栄養セッション（2016年）

2018年からは日本赤十字社などで働きながら、パレスチナの支援を続け、今は国際NGO、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでガザ地区の緊急支援、生計向上支援の担当をしています。その傍ら、立教大学で2019年から「パレスチナ問題の歴史と現在」という授業を担当し、パレスチナ問題を通じて国際政治や宗教問題、紛争問題を考える機会を若い人たちに提供しています。

2024年度12月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率
1	安 藤 公 一	100	0	100	12	二 宮 麻 理 子	67	33	100
2	福 村 正	100	0	100	13	岡 田 隆	67	33	100
3	日 向 彰	33	0	33	14	佐 藤 真 吾	33	0	33
4	市 川 慎 二	100	0	100	15	佐 藤 利 明	－出席規定免除－		
5	五十嵐 正	100	33	133	16	佐 藤 勉	100	0	100
6	北 澤 正 浩	100	33	133	17	関 口 大 樹	67	33	100
7	草 柳 孝 広	0	0	0	18	関 澤 信 吾	33	34	67
8	増 田 嘉 一 郎	－出席規定免除－			19	宋 謹 衣	0	0	0
9	目 黒 惠 一	100	0	100	20	田 川 富 男	100	0	100
10	中 谷 逸 希	33	0	33	21	中 島 徹	100	0	100
11	新 川 尚	100	33	133	22				
例 会 日		4 日		1 4 日		1 8 日		平均	
例会出席率		$\frac{13}{19}$	68.42%	$\frac{15}{19}$	78.95%	$\frac{14}{19}$	73.68%		
修正出席率		$\frac{14}{19}$	73.68%	$\frac{16}{19}$	84.21%	$\frac{16}{19}$	84.21%		80.70%

## 2024~2025 年度 横浜旭ロータリークラブ

### 第十三回理事会議事録

日時	2025 年 1 月 8 日 (水) 13 時 30 分より	出席者	北澤正浩 安藤公一 佐藤真吾 五十嵐正 田川富男
場所	例会場	新川尚 岡田隆 市川慎二	欠席者
		関口大樹	

#### 【報告事項】

##### 地区関係

- 1 2月26日(水) 18:00~ ロータリー希望の風奨学金チャリティーコンサート  
はまぎんホール(朝倉春奈さん出演) 新川

##### クラブ関係

- 1 1月15日(水) 例会時 第3回 クラブ協議会
- 2 1月26日(日) 15:00~ 横浜旭RCチャリティーコンサート 旭公会堂
- 3 1月26日(日) 10:00~ 第56回インターアクト年次大会 神奈川県民ホール
- 4 1月31日(金) 12:30~ 横浜旭RC・横浜瀬谷RC合同例会 三ツ境 e-モール
- 5 2月5日(水) 13:30~ 第十四回理事会

#### 【審議事項】

- 1 クリスマス・家族親睦会決算について  
田川親睦委員長より決算報告がされた。
- 2 戦略委員会と3カ年 project の兼務について  
次年度理事会にて戦略委員会と3カ年 project 委員会を兼務することで決定した。  
今期は変更せずに、理事会が戦略委員会を兼務し、別に3カ年 project 委員会とする。
- 3 2025 - 26 年度 地区委員候補者推薦依頼について  
現在の所、推薦者はとくに無し。
- 4 2月19日(水)の夜間例会について  
2月19日の夜間例会はサンハート休館のため、12時30分からコミュニティーサロンにて開催。
- 5 募金の使い道について  
東日本大震災並びに能登半島地震に対する義援金の総計は136,449円に達しました。  
その内、106,449円を日本赤十字社の能登半島地震災害義援金として拠出いたしました。  
残余の30,000円に関しては、東日本大震災への支援活動を恒久的に継続させることを目的として、積立資金として留保いたしました。

#### 6 その他

特になし

承認